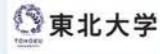


DATEntreの活動への関わりと、これからの未来 参画機関の活動と今後の展望

東北大学
東北イノベーション人材育成コンソーシアム
運営会議議長

秋田 次郎さん



2017年秋にスタートしたDATEntreこと東北イノベーション人材育成プログラムは、2021年秋に第九期生を迎え、文部科学省受託事業としての最終年度を満了しつつあります。プログラムから輩出した修了生は既に諸々の日本企業で活躍し、DATEntreの認知度も高まり、同窓生の人的ネットワークも醸成されてまいりました。それらを立ち消えさせることなく、今後は受託事業からは自立しつつもDATEntreの旗印を掲げ続けてまいりたいと思います。縁あって折角日本に留学してこられた外国人留学生諸君が、大学での学業に加えて、日本での就業を経験し、その経験を各自のキャリアに活かして、将来は母国と日本との懸け橋となられることを、私たちは真の国際交流の在り方として強く望みます。併せて、それが日本、就中、東北に留学生ならではの視点からの新結合(イノベーション)を惹起し、地域経済を牽引することを望みます。その為には、留学生の皆様には、虚心坦懐に日本そして東北の企業を見て頂きたいと思ひます。他方、企業の皆様には留学生のポテンシャルに積極的に目を向けて頂きたいと思ひます。経営学では、死活的に重要な情報がみすみす顧みられず損失をもたらすという「意識の壁」(Bounded Awareness)に対する警鐘が鳴らされています。留学生がみすみす有益な就業機会に目を向けず、また企業が留学生の知恵を活かす機会に気づかないならば、それは双方にとってどれほどに勿体ない損失であることでしょうか。DATEntreに参画する教育機関、行政機関、企業団体は、パンデミックの逆境に抗いつつ、それぞれの立場から必要な意識変革を目指して全力を尽くしてまいります。DATEntreの営みか、日本と東北地方の真の国際化と発展への切り札となることを私たちは願ってやみません。

東北工業大学
副学長
(兼国際交流委員長)

小林 正樹さん



本学では、外国人留学生に特化した日本語学習やキャリア教育などの履修科目がないため、2017年から参画した東北イノベーション人材育成コンソーシアムを活用し、延べ7名の留学生が、東北大学で日本語学習やキャリア教育科目などの授業を受講し、また留学生対象のインターシップや就職フェアに参加しました。とくにインターシップを通じて日本の職場文化を学ぶできたことは留学生の就職活動に大変役立ち、これらのイベントに積極的に参加した留学生の一人は日本企業に就職することができました。次年度以降については、学内でのキャリア教育科目の受講および学都仙台単位互換ネットワークを利用した日本語学習や国際共修科目の履修を留学生に推奨するとともに、日本での就職活動の支援、とくに地元企業への就職を目指したキャリアサポートを重点的に行いたいと考えています。また、コロナ禍により学内の国際交流活動も停滞していることから、各種デジタル技術を活用したオンラインによる国際交流活動の活性化にも注力していきたいと考えています。

宮城学院女子大学
副学長

戸野塚 厚子さん



本学では2018年度より2021年度までの4年間で、計5名の外国人留学生が人材育成プログラムに参加しました。その中でも2020年度の卒業生は、DATEntreのインターンシップで以前より興味があった業界の企業と出会い、インターンシップ終了後もアルバイトを継続して就職をしました。今回が初めての外国人採用とのことでしたので、企業にとっては新たな視点を取り入れる経営のヒントに、留学生にとっては将来の夢への第一歩となって欲しいと願っております。

2021年度は本プログラムに参加している学生が1・2年生であるため、直接的な就職活動支援活動というよりも、コロナ禍での学生生活の状況把握を目的に、留学生と教職員との交流会を開催いたしました。進路選択の相談だけではなく、コロナ禍における学生生活全般の困りごとや要望などをヒアリングしました。2022年度以降は学生達の就職活動が具体化かつ本格化してきます。留学生が納得の行く進路決定ができるよう、本学も支援を続けていきます。

東北学院大学
学長特別補佐
(コンプライアンス担当)

菊地 雄介さん



東北学院大学では、本事業の申請当初からの参画機関として、留学生による日本語能力の習得・向上、日本文化の理解などを通じた仙台、宮城、東北ひいては日本企業への就職につながる多角的な取り組みを推進してきた。具体的には、従来から設置している「外国人留学生科目」の開講、近隣留学生を中心とした地域のお祭りへの参加、就職関係の合同説明会・セミナーなどへの機関参加と留学生に対する個別参加の案内等である。2018年7月開催のインターンシップ合同説明会では、東北学院大学内の教室を会場として提供した。これらの取り組みを通じた本事業の成果として、本学の留学生の中に日本企業に就職する学生も出てくるなど、留学生に対する就職先の情報提供や、留学生が望む進路の実現、本学における国際交流活動の質的な向上等を果たすことができた。

2021年度末をもって、本事業はいったん区切りを迎えることとなるが、東北学院大学における「外国人留学生科目」の開講や、地域との連携・協働による日本文化の理解促進等々の取り組みを通して、今後とも、東北学院大学に在籍する留学生に対し、進路先の情報提供や各人が望む進路の実現につながる各種の企画を提供し続けていく所存である。

DATEntreの活動に携わってきた参画機関の活動内容と、次年度以降の活動予定や展望をご紹介します。

東北福祉大学
副学長

寺下 明さん



東北福祉大学は2019年度後期からDATEntreに参画させていただき、これまで9名が活動に参加し、昨年2名がめでたく修了できました。コロナ感染症の蔓延により、本来宮城や日本での就職を希望していた留学生2名は修了生とはなりませんでしたが、その後加わった学生も含め、「上級ビジネス日本語(PBL)」、「中上級日本語能力試験N1対策」、「中級ビジネス日本語」など様々な授業を履修することができました。本学で開講されていない「ビジネス日本語」は就職活動に役立つ講座として人気です。今後は、地元企業への就職を希望する留学生が増えることを期待し、就職イベントの参加を促していきたいです。留学生対象の活動は、学生国際交流サークル「COCOSA」が中心となって企画し、2020-2021年度はオンライン交流会を行い、今年度1年半ぶりに対面の交流活動を行いました。未だ来日できない留学生も交流会に参加したり、日本人学生と日本語会話練習を行ったりしています。



2021年11月13日(土)
COCOSAの留学生交流会

仙台高等専門学校名取キャンパス
副学長(教務担当)

伊藤 昌彦さん



仙台高等専門学校は、東北イノベーション人材育成プログラムの掲げる「日本でのキャリア形成に関心を持つ留学生の日本語能力、日本的文化への理解、日本社会の就職慣習への理解を高め、東北地方や日本の企業への就職へ結びつけることを目的としています。」という趣旨に共感し、令和3年度から参画しております。今年度は、参加初年度であることから、留学生へのプログラム浸透を目的とし、オンラインのイベントへの参加等を積極的に推進しました。

本校として実施が難しかった『労働法規』や『ビジネスマナー』などビジネスの実践で役立つ講座を中心に案内を行い、参加した学生からは好評を得ています。本校では、全国の高専の先頭を切ってモンゴル高専卒業生の受け入れを行っておりますが、各種イベントで学んだ知識を生かし、全員が希望通り日本企業への就職を決めることができました。

今後も引き続き、プログラムで主催するイベント等への留学生の参加を促し、本校における留学生への就職のサポートが更に堅固なものとなることを目指します。

宮城大学
理事・副学長

風見 正三さん



宮城大学は2021年度からDATEntreに参画しました。東北イノベーション人材育成プログラムによる他大学講義の受講やJES留学生奨学金の採択等、DATEntreの事業を最大限に活用した中身の濃い一年となりました。また、本事業を通じて地域の産学官と連携・交流を深められたことは、グローバルな視点で地域社会の発展に貢献できる人材育成を理念に掲げる本学にとって、貴重な機会となりました。

コロナ禍の影響のため、留学生数の減少が予想されています。留学生は国際交流の礎であり、本学学生の多文化理解や多様性教育の視点からもその重要性は増えています。ポストコロナに向けて、留学生にとって魅力的な学修環境を整備するとともに、県内企業と連携しながら就職支援も強化していきます。また、宮城大学の「グローバル人材育成プログラム」や「グローバルインターンシップ」等をDATEntreの参画機関と協働で運営する等、地域のグローバル化と人材交流に貢献していきたいと考えております。

宮城県
経済商工観光部長

千葉 隆政さん



県は、DATEntre設立時から主に留学生の県内就職に向けた取組を行ってまいりました。留学生の県内企業への就職を後押しするため、合同企業説明会や留学生向けセミナー、県内企業との交流会を継続的に行ってきたほか、大学との連携によりカリキュラムの一環として留学生自らが県内企業を取材し、留学生向けの就職情報誌を作成、刊行するなど、相互理解の促進や県内就職につながる取組を進めてきたところで、今後、人口減少を迎え、国内市場の縮小や人手不足などの課題が一層顕在化してくる中、県内で学ぶ留学生には優秀で即戦力になる人材も多く、海外展開など事業の高度化等を進めるうえで大きな力となり、さらにはダイバーシティの推進による組織の活性化も期待されます。県といたしましては、今後も留学生と県内企業の交流機会の創出や受入企業の更なる掘り起こしなど、留学生のより一層の活躍につながる取組の充実・強化を図ってまいりたいと考えております。

DATEntreの活動への関わりと、これからの未来 参画機関の活動と今後の展望

仙台市
経済局地域産業支援課長

柳沢 淳さん



地元の大学や企業等と連携し学生のキャリア支援や地元定着促進を図るとともに地元企業の広報活動促進等を目的として、インターンシップ事業を実施しました。

インターンシップの参加対象者は、日本でのキャリア形成を考えている外国人留学生を含む主に宮城県内の大学で学ぶ大学1、2年生・大学院1年生です。

令和2年度及び令和3年度夏季は実施参加企業がインターンシップ内容を説明するインターンシップ合同説明会を実施し、興味を持った企業へエントリー、インターンシップに取り組みました。令和3年度冬季は、企業が抱える課題やチャレンジについて、留学生と日本人学生がチームを組み、国籍に捉われない幅広い視点から課題解決やチャレンジの実現に向けた提案を行う「国際共修&課題解決型インターンシップ」をオンラインで開催します。次年度においても学生のキャリア支援等を目的として、インターンシップ事業を実施する予定です。

【実績・予定】	インターンシップ説明会		インターンシップ参加	
	企業数	学生数	企業数	学生数
R2年度夏季 (7~9月)	19社	104名	15社	36名
R2年度冬季 (12~3月)	16社	68名	11社	19名
R3年度夏季 (7~9月)	20社	128名	14社	31名
R3年度冬季 (12~3月)	—	—	5社(予定)	30名(予定)

宮城労働局
職業安定部長

竹内 ひとみさん



宮城労働局では、仙台新卒応援ハローワーク(仙台市青葉区中央1-2-3仙台マークワン12階)に留学生コーナーを設け、外国人留学生の日本での就職を促進するために以下のような支援を行っています。日本で就職することをお考えの留学生の皆様、支援をご希望の学校関係機関の皆様、外国人留学生の雇用管理にお悩みの事業主の皆様、ぜひ一度留学生コーナーにご相談ください。

- 専門の相談員による個別相談
- 専門の職業相談員による在留資格をふまえた職業相談・職業紹介
- 出張相談・ガイダンス
- 出張相談や職業意識啓発のためのガイダンスなどの実施
- 外国人雇用管理アドバイザーによる相談
- 外国人留学生を採用予定または既に採用している事業所からの募集や採用、採用後の労務管理等に係る相談の実施

DATEntreの活動に携わってきた参画機関の活動内容と、次年度以降の活動予定や展望をご紹介します。

一般社団法人東北経済連合会
常務理事事務局長

佐藤 信康さん



東北経済連合会は、東北・新潟地域の経済振興を目的に、各種政策提言やプロジェクト推進を行っています。

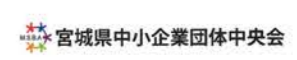
このような中、東北イノベーション人材育成コンソーシアムにおいては、当会として留学生と企業との結節点になるべく、側面的な支援を行っております。これらの活動は、当会の「わきたつ東北」戦略ビジョンに記載されている「多様な人材の活躍の推進を通じて、地域社会の持続性と魅力を高めること」を目指すものであります。

具体的な支援としては、宮城県主催の外国人材マッチング支援事業「Work in Miyagi」の当会会員企業への周知、東北大学実施の「グローバルリーダーの育成・採用に関する企業調査」への当会会員企業への調査依頼等があげられます。

当会としては、今後も東北・新潟の各大学在籍留学生と企業との結節点となるべく、さらには、このコンソーシアムの取組を核に、このような取組が東北・新潟一体となったより広域的な取組となるよう支援していく所存です。

宮城県中小企業団体中央会
事務局長

渡邊 秀己さん



宮城県中小企業団体中央会は、県内の中小企業振興を目的に、中小企業者の組織化と連携強化を図るための総合支援機関です。

【概要】会員数：468組合 構成企業数：約72,000社 (R3.4.1現在)

【主な実施事業】

- 組合等の設立、運営に関する相談・支援
- 中小企業の経営、労務、経理・税務、法務等の相談対応
- 組合活性化支援
 - (1) 研究開発・展示商談会等への出展支援
 - (2) 地域商業活性化への支援
 - (3) 人材確保・定着への支援
- 中小企業及び中小企業の組織に関する調査・研究
- 中小企業施策の建議・陳情・要請

東北大学をはじめ、宮城大学、東北工業大学、東北学院大学等と連携し、大学が実施する各種の情報を傘下中小企業に周知・広報するとともに、希望する企業とのマッチング支援を実施しています。

「東北イノベーション人材育成プログラム」についても、引き続き推進して参りますのでよろしくお願いいたします。

JETRO 仙台
仙台貿易情報センター長

伊藤 亮一さん



■ 「高度外国人材活躍推進コーディネーターによる伴走型支援」の継続

高度外国人材を採用したい、より長く働いてほしいといった悩みを抱える企業へ、各社のお悩みに合わせた伴走支援を次年度も継続実施いたします。

■ 高度外国人材活躍推進ポータルサイトの継続運用

高度外国人材の日本での受入れ促進に向け、留学生を含む高度外国人材と採用側の企業の双方のニーズに応える情報を一括でわかりやすく提供するポータルサイトを継続して運用いたします。

■ 各種イベント/セミナーの実施

高度外国人材の活用を推進すべくイベントやセミナーを2022年度も実施。企業向けの講習会だけでなく、就労している外国人の方へ向けたイベントも開催予定です。

JICA 東北
所長

小林 雪治さん



JICAは、長期研修員制度により東北の教育機関で母国の発展のために学ぶ留学生を受け入れておりますが、一部の留学生について東北の企業様にインターンの受入をお願いしております。また、昨今JICAは「外国人材受入支援・多文化共生推進」を地方公共団体・市民団体・企業・教育機関等の活動をサポートする形で進めており、JICA東北センターは、本年度からDATEntreに参画させていただいております。

今後は、DATEntreの同窓生ネットワークや採用のマッチングイベントなどにおいて、東北の企業様が採用された留学生をきっかけに、その母国への海外進出の可能性を検討する調査を支援するJICAの民間連携事業を紹介することを通じ、東北・母国双方で活躍・社会貢献できる人材育成と東北企業様の発展をサポートしていきたいと考えております。また、社会人として東北各地で長年居住することとなる元留学生と地域の学校や自治会等を繋ぎ、国際理解教育活動や、防災を始めとするコミュニティ活動への元留学生の参加を促すことなどを通じて、多文化共生社会実現に少しでも貢献できれば、と考えております。

仙台商工会議所
総務管理部 次長

白石 由さん



仙台商工会議所では、地域と企業の活性化に向けた各種事業を行っています。今年度は、「地元企業と学校との就職情報交換会」事業により、企業の採用担当者と大学等の就職指導担当者との情報交換を行うことを通じて、学生と企業とのマッチングを促進しています。また、東北大学との連携により2016年から実施している課題解決型演習授業「仙台の商店街を活性化して仙台全体を盛り上げよう」の一環として、仙台の伝統商業文化である「仙台初売り」を学ぶ機会を創出しています。留学生を含む学生が実際に商店街の現場に立ち、マーケティング等を行っていくことから地元の企業を理解する場にもなっています。

このほか、東北イノベーション人材育成コンソーシアム参画機関で実施される事業の会員企業への周知協力など側面的支援を実施しており、引き続き地域企業が多様な人材を雇用し、企業としての力を高めていけるような事業を展開してまいります。

2022年4月よりカリキュラムが変わります

文部科学省留学生就職促進プログラムの1つとして、日本で就職を希望する留学生を対象にキャリア支援を行ってきた「東北イノベーション人材育成プログラム」。このカリキュラムは2022年3月で修了生・特別修了生の輩出が最後となります。2022年4月からは新たに「履修認定」制度となり、在学期間中に「履修認定」を行うことで、就職活動時に一定の日本語レベルを保有し、日本の企業文化にも理解が深いことを示すことができるようになりました。

履修認定のステップ

- (1) 次の「履修認定申請資格」を満たしているか確認
 - ① 東北イノベーション人材育成コンソーシアムに参画している教育機関に正規生として在籍している留学生であること。
 - ② 修認定の領域および対象の要件を全て満たしている者。
 - ③ 本プログラム履修後、日本国内での就職を希望する者。
- (2) 履修認定の領域および対象を確認
- (3) 各機関より履修認定要件を満たしている学生のリストを事務局に提出
- (4) 履修認定
- (5) 履修認定の領域および対象

DATEntre 宮城・日本で働く先輩に聞く 等身大座談会



2022年1月11日のDATEntre OBOG交流会では、それぞれ異なる業界に就職した4人が集まり、日本での就職活動や入社後の想いを、等身大でトークしました。

東洋ワーク株式会社

ラン・ホウさん

2020年3月
東北大学修士修了
2022年4月入社
出身：中国

七十七銀行株式会社

余 仲恆さん

2021年9月
東北大学 経済研究科 卒業
2022年4月入社予定
出身：台湾

ariTV 株式会社

ユニ・ヌルル・アジザさん

2017年9月
東北大学 国際文化研究科 修了
2018年10月入社
出身：インドネシア

株式会社テレモアドットコム

王 潔さん

2020年3月
東北大学大学院 文学研究科 修了
2021年入社 (2社目)
出身：中国

「DATEntre OBOG 会の活動」

在学中に「DATEntre 東北イノベーション人材育成プログラム」に参加していた卒業生を中心に、卒業生同士や日本での就職を目指す学生との交流会・情報交換などの活動を行なっています。

日本での就職活動で 大変だったことは

余 仲恆さん (以下 余) > 一番大変だったのは日本語の勉強ですね。本格的に日本語の勉強を始めたのは、日本に来た2019年10月からでした。大学では英語で授業を受けていたので、面接の練習や適性試験の準備が特に大変でした。

ラン・ホウさん (以下 ラ) > 日本語が不十分だと面接官の質問の意味や、自分が伝えたいことがうまく伝えられないですもんね。

王 潔さん (以下 王) > そうですね、あとはお金の準備と時間の確保、情報収集じゃないでしょうか。

ユニ・ヌルル・アジザさん (以下 ユ) > 時期的に就職活動と卒業論文などの学業を両立しな

ければならないですし、面接や試験を受けるために交通費などのお金の準備も必要ですね。
王 > そうなんです。私の場合は日本の企業に勤めて現在2社目で、転職活動では約20社リストアップした後に10社に絞って本格的に転職活動を始めたのですが、東京の企業の面接を受けるために、何度も県外に行かなければならないので、時間と交通費などのお金を捻出するのが大変でした。

ラ > しかも1次試験を通過したら2次、3次とその後もあるので、その分の準備も必要なんですもんね。中国の面接の場合は、だいたい2回く



らいがスタンダードなので、3回以上面接があるのは、日本ならではですね。

王 > 一般的に就職活動は遅くても1年前から準備の方がよいといいますが、その中には時間や情報取捨の準備だけではなく、アルバイトなどをしてお金の準備も必要だと痛感しましたね。ちなみに余さんやランさんは、コロナ禍での就職活動で、その影響や大変だったことはありますか？

余 > コロナ禍で、適性試験や面接はオンラインがメインになりましたね。オンライン面接ならではのマナー等は動画サイトを見て勉強もしましたよ。

ユ > 私が就職活動していた時とは、まったく様子が変わりましたね。みなさんは面接対策はどのようにされていましたか？

余 > DATEntre の先輩や先生方に模擬面接の練習相手になっていただいたり、サポートをしていただきました。ランさんはどんなことが大変だと感じますか？

ラ > 自己分析、自己PRが特に大変でした。自分がやりたいこと、自分の強みが分からず、迷走していました。面接でも「入社後やりたいこと、活かせるスキルはあるか」という質問がよく出るので…。自己分析と同じくらい、面接前の企業分析もしっかり準備しないと答えられないですよ。

現在の就職先を選んだ決め手、 現在の仕事内容とは

余 > 私は大学で学んだ専門知識や語学力を活かせる仕事に就きたいと思い、今の銀行から内定をいただきました。夢はアジアビジネス支援室という部署で、宮城の中小企業さまに貢献することです。

ラ > 私は人材サービスの会社に就職し、現在は国際事業部で日本で働きたい外国人をサポートや留学生の就職活動のサポートをしています。合同説明会で出会ったのがきっかけで、自分のやりたいことに悩んでいた時に、人と関わることが好きと気付かされたことが決め手でした。

王 > 私は1社目が銀行、現在は2社目で映像制作会社に勤めています。銀行の堅い社風やギャップがあり10ヶ月で退職、現在は語学力やバックグラウンドを活かし、インバウンド関係の仕事をしています。

仕事でのやりがいや 励みになること、 成長を感じる部分とは

王 > 自分が作った動画が海外で放送されているのを見た時ですね。現場の人とやりとりし、時間をかけて作ったものが人々にしてもらっているのが、とても励みになります。今の業界は全くの未経験だったので、1から覚えるのが大変でしたが、覚えたことが次に活かしているのを実感できるので楽しいです。

ユ > 観光プロモーションやSNSでの発信など、ファンみなさんとのコミュニケーションが楽しいですし、やりがいを感じる瞬間ですね。



ラ > 入社1年目は書類の作成や、外国人とのやりとりがメインでしたが、2年目は営業も任せられるようになりました。自分の気持ちをお客様に伝えられるよう、仕事以外の時間も日本語をたくさん勉強して、それが生きていると感じる時に成長を感じます。

日本で就職を考えている 留学生たちへアドバイス

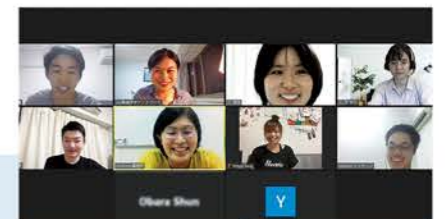
王 > リソースをしっかり利用すること、そして日本人に積極的に話しかけることです。日本語を習得しながらの外国人にとって、履歴書やエントリーシートは書くのも一苦労です。私自身、日本人学生に添削やチェックを手伝ってもらい、とても助かりました。声をかけるのはとても勇気のいることですが、日本人学生や先生には積極

的に声をかけてみてほしいですね。失敗を恐れずに自分の価値を信じて活動してほしいね！

ユ > 日本語の勉強ですね。日本の企業に就職するからには、意思疎通に必ず必要になるので、円滑なコミュニケーションを取るためにも、これが一番大事だと思います。日本語学校や動画サイトを活用した勉強などもオススメです！また、インターンシップやアルバイトなど、実体験できる場に飛び込んでみるのもいいですよ。企業説明会だけでは見えないものが見えてきます。

余 > 就職活動中はどこでも自己PRが必要になるので、早めに準備を始めるといいと思います。

ラ > 余さんと同じで、自己PRのための自己分析をしっかりしてほしいです。そうすることで、入社をゴールにするのではなく数年後の自分がどうなっていたいか、納得できる自分をイメージできると思いますよ。また、入社後は自分がやりたいことと、就職後実際に任せられる業務が違うことがほとんど。ギャップを感じても自分の能力を伸ばすため、色々なことにチャレンジしてほしいですね。



DATEntre OBOG 会の オンライン交流会

DATEntre OBOG 会は、オンラインで定期的に交流会を開催し、卒業生同士のネットワークの構築や情報交換を行っています。日本で就職活動を経験した先輩も多く、日本での就職を目指す学生を対象とした交流会や情報交換会も開催しています。日本語・中国語・英語での相談・交流が可能です。

「先輩に話を聞いてみたい!」という在学生、話を聞いてみたいという企業の方など、関心のある方は下記までご連絡ください。

お問合せ先: DATEntreOBOG@gmail.com